



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学映像・現代文化論学会彙報
Citation	層 : 映像と表現, 16, 177-177
Issue Date	2024-03-28
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/91452
Type	other
File Information	16_11_p177.pdf



北海道大学映像・現代文化論学会 彙報

◎主催 北海道大学大学院文学研究院 映像・現代文化論研究室

◆第七回 北海道大学映像・現代文化論学会大会

◎日程 二〇二三年一月一八日(土) 一時～一七時三〇分

◎方式 対面＋オンライン(事前登録制)

～プログラム～

・総合同会 中村 三春
・開会の辞 押野 武志

○研究発表

武田泰淳「ひかりごけ」における「罪」に関する考察

博士後期課程 趙 文軒

安部公房「友達」の人物造形と共同体概念

——「闇入者」から「友達」(改訂版)へ——

博士後期課程 李 楚妍

少女マンガにおける同性愛表象論

——一九七〇年代の作品を中心に——

博士後期課程 郭 如梅

ルサンチマンと疚しい良心、そして取り返しのつかない時間

——ブライアン・デ・パルマの映画について——

博士後期課程 李 良坤

○オンライン講演

演出の発見

講師紹介 応 雄
映画監督 三宅 唱

・閉会の辞 阿部 嘉昭

(肩書の記載のないものは、映像・現代文化論研究室教員)